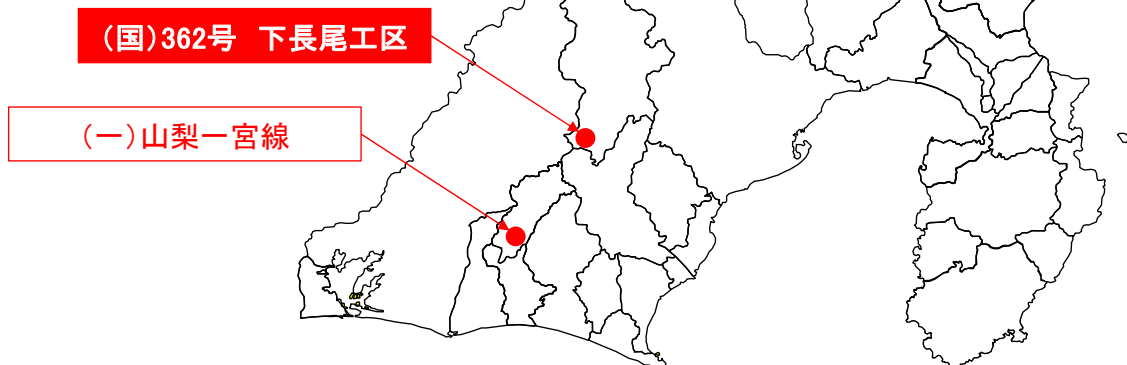


番号	3	令和8年度公共事業再評価調書					担当課名	道路整備課																																			
事業名	道路改築事業					事業主体	静岡県																																				
ふりがな	いっぽんこくどう ごう しもながお こうく					関係市町	川根本町																																				
箇所名	一般国道362号 下長尾工区																																										
事業採択年度	令和4年度			計画期間	令和4年度～令和11年度																																						
用地着手年度	令和4年度			工事着手年度	令和4年度																																						
再評価理由※	事業採択後5年経過																																										
全体事業費	百万円 250	投資状況 (百万円)	～R6年度 60	R7年度 11	R8年度見込 80	計 151																																					
事業概要	(1)事業目的 一般国道362号は、愛知県豊川市から静岡県川根本町を経由し静岡市へ至る、地域の経済活動や生活に欠かせない道路である。 第二次緊急輸送路に加え、地域住民の生活道路としての機能を確保するため、本対象区間を整備し、地域住民の安心を確保することと共に地域経済の活性化を図る。 (2)事業内容 施工延長：181 m 道路工：181 m																																										
【視点1】 事業の必要性	(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 中山間地域である川根本町では、静岡県全体と比較して高齢化率が高く、高齢化の進行も顕著であり、医療機関の利用頻度がさらに高まることが想定される。また、近年、豪雨災害が頻発化しており、川根本町においても道路や河川などの施設被災が増加している。 (2)事業の投資効果 ○費用便益分析結果 (令和8年度時点) <table><tr><td>B/C (i=4%)</td><td>参考:B/C (i=2%)</td><td>参考:B/C (i=1%)</td><td>EIRR</td></tr><tr><td>0.8</td><td>1.1</td><td>1.4</td><td>2.6%</td></tr></table> ・総便益 (B) 1.8 億円 (走行時間短縮便益：1.69億円、走行費用減少便益：0.09億円、交通事故減少便益：0.002億円) ・総費用 (C) 2.4 億円 (建設費：2.28億円、維持管理費：0.08円、用地残存価値：0.001億円) ○費用便益分析の総合評価結果 高齢化や人口減少が進む中山間地域においては、既存の3便益のみでは、地域住民の生命や生活の維持などを十分に評価できない側面がある。費用便益分析マニュアル(令和7年8月 国土交通省 道路局)に基づき、必要に応じて貨幣換算化し、便益を計上した値を設定できることから、医療機関へのアクセスの向上や防災機能の強化といった効果を便益に加え、参考値として、総合評価を行う。 <table><tr><td>B/C (i=4%)</td><td>・総合評価の総便益 (B)</td><td>2.4 億円</td><td>追加便益：0.582億円</td></tr><tr><td>1.0</td><td>・総費用 (C)</td><td>2.4 億円</td><td></td></tr></table> ・救急救命率向上便益 0.523億円 ・定時性向上便益 0.047億円 ・環境改善便益 0.012億円 (3)事業の進捗状況 (令和8年度見込み) <table><tr><th>区 分</th><th>進捗率</th><th colspan="2">内 訳</th></tr><tr><td>事業費</td><td>60.4%</td><td>(151 百万円</td><td>／ 250 百万円)</td></tr><tr><td>事業量</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>道路工</td><td>47.9%</td><td>(91 百万円</td><td>／ 190 百万円)</td></tr><tr><td>用地取得</td><td>100.0%</td><td>(980 m²</td><td>／ 980 m²)</td></tr></table> 評価 継続が妥当							B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR	0.8	1.1	1.4	2.6%	B/C (i=4%)	・総合評価の総便益 (B)	2.4 億円	追加便益：0.582億円	1.0	・総費用 (C)	2.4 億円		区 分	進捗率	内 訳		事業費	60.4%	(151 百万円	／ 250 百万円)	事業量				道路工	47.9%	(91 百万円	／ 190 百万円)	用地取得	100.0%	(980 m ²	／ 980 m ²)
B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR																																								
0.8	1.1	1.4	2.6%																																								
B/C (i=4%)	・総合評価の総便益 (B)	2.4 億円	追加便益：0.582億円																																								
1.0	・総費用 (C)	2.4 億円																																									
区 分	進捗率	内 訳																																									
事業費	60.4%	(151 百万円	／ 250 百万円)																																								
事業量																																											
道路工	47.9%	(91 百万円	／ 190 百万円)																																								
用地取得	100.0%	(980 m ²	／ 980 m ²)																																								
【視点2】 今後の事業の進捗の見込み	用地買収は令和6年度までに完了し、令和7年度から工事に着手しており、令和11年度完成に向けて事業を推進する。 評価 継続が妥当																																										
【視点3】 新たなコスト削減・代替案立案等の可能性	工事を進めるにあたっては、他現場の現場発生土を盛土材としての使用を検討するなど、工事費の縮減を図る。																																										
対応方針(案)	(1)対応方針(案) 本事業を 【 継続 】 する。 (2)理由 本事業は、各施設へのアクセス性の向上に加え、災害時の迅速な復旧活動、さらには傷病者負担軽減への寄与に資する重要な役割を果たす道路事業である。 既に全ての用地買収が完了し、さらに擁壁工の一部が完了しており、令和9年度には部分供用が可能となり、早期に事業効果が発現される。参考として、3便益以外の項目を加えた費用便益比(B/C)の総合評価は1.0 になることから、事業を継続し、コスト削減に努めて早期完成を図る。																																										

令和8年度 公共事業再評価

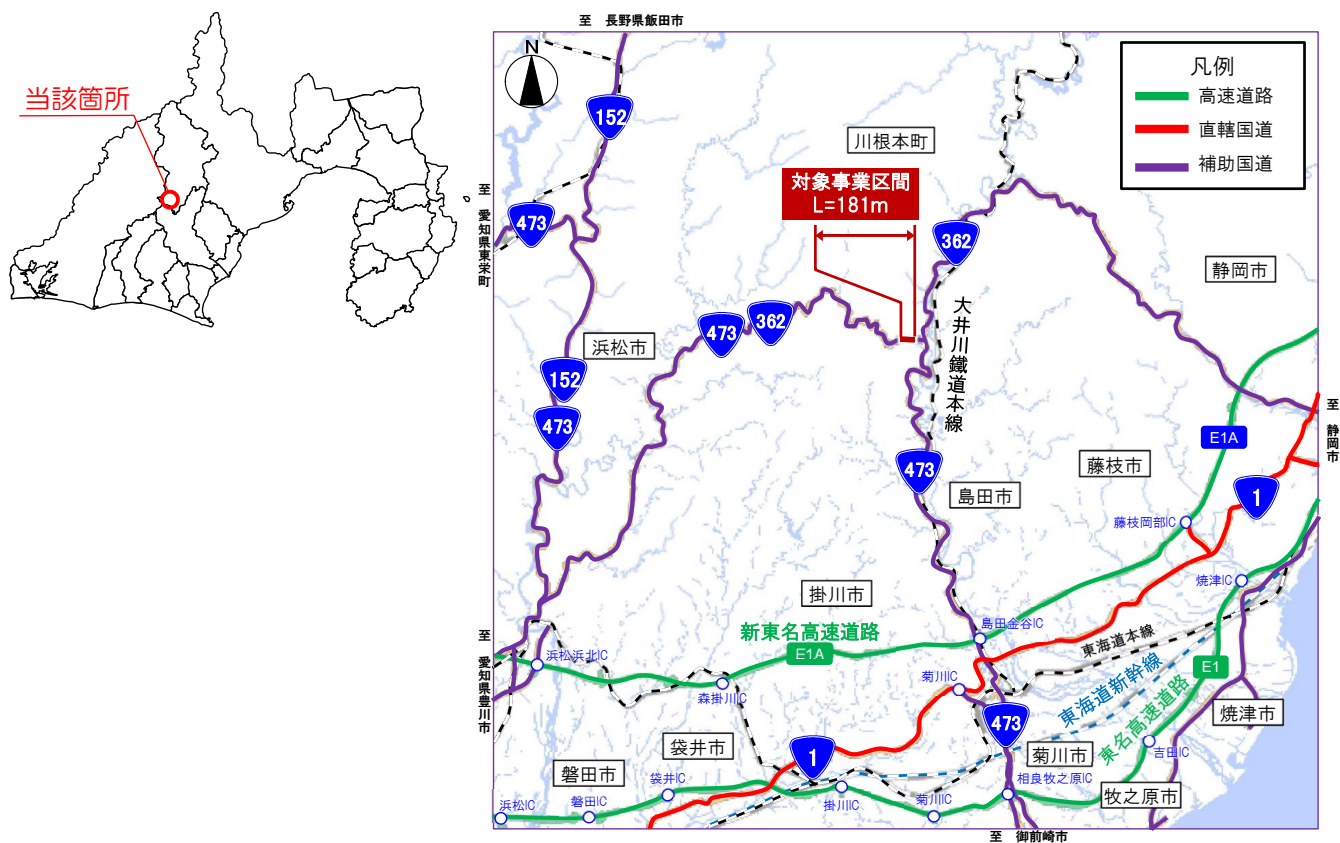
道路事業：2事業



番号	事業名	箇所名	代表事業
2	道路事業	いっぱんけんどう やまなしいちのみや 一般県道 山梨一宮線	
3	道路事業	いっぱんこくどう しもながお 一般国道362号 下長尾工区	○

交通基盤部 道路局 道路整備課

1. 事業箇所位置図



2. 事業概要

詳細位置図



■写真①:対象区間の様子



■写真②:対象区間周辺の様子



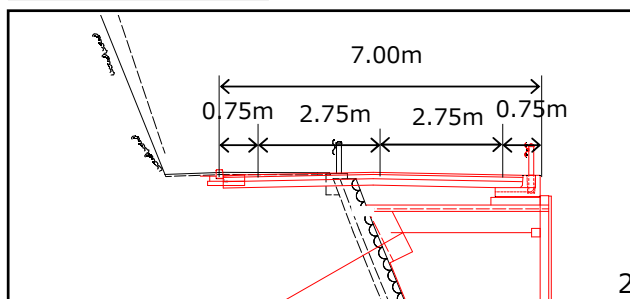
事業目的

- 第二次緊急輸送路に加え、地域住民の生活道路としての機能を確保するため、本対象区間を整備し、地域住民の安心を確保すると共に地域経済の活性化を図る。

事業内容

- 事業期間 : 令和4年度～令和11年度
- 事業区間 : 延長 181m
- 道路幅員 : 7.0m
- 車線数 : 2車線
- 全体事業費 : 250百万円

標準横断図



3. 事業を巡る社会情勢等の変化

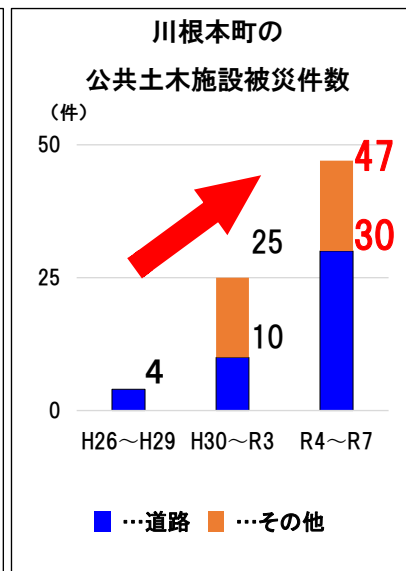
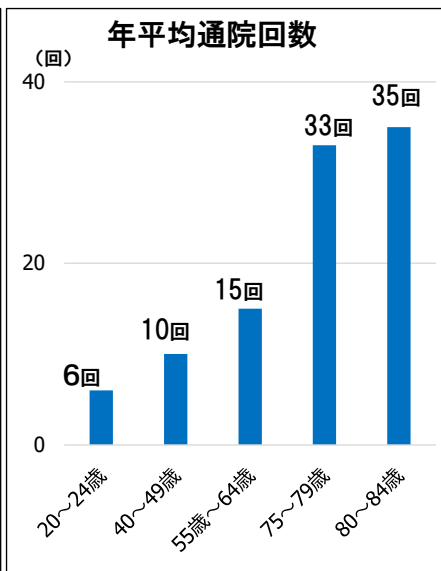
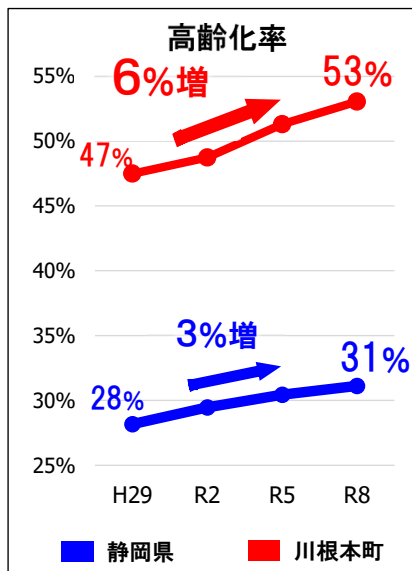
高齢化の進行

中山間地域である川根本町では、静岡県全体と比較して高齢化率が高く、高齢化の進行も顕著であり、利用頻度がさらに高まることが想定される。

災害の増加

近年、豪雨災害が頻発化しており、川根本町においても道路や河川などの施設被災が増加している。

- 事業区間を含む国道362号では、被災時の道路啓開や災害復旧に時間を要しており、地域住民の移動や医療機関へのアクセスといった日常生活に影響を及ぼしている。

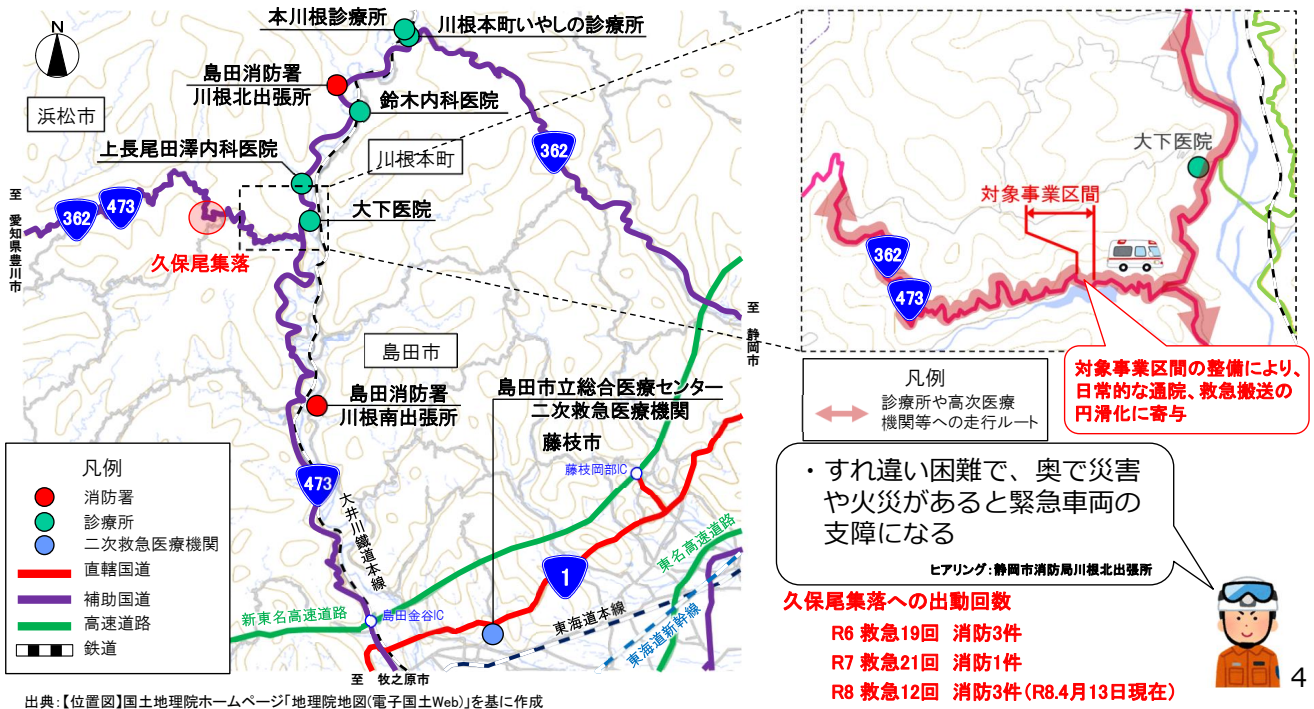


4. 事業の必要性（事業の効果）

① 傷病者負担軽減への寄与

【現 状】久保尾集落に居住する住民が医療機関を利用するには、線形不良や狹隘ですれ違い困難な道路を通るため、救急搬送時には傷病者の負担が大きい。

【期待する効果】通院時の移動快適性の向上、救急搬送時における傷病者の負担軽減が期待される。



4. 事業の必要性（事業の効果）

② 生活の利便性の向上

【現 状】久保尾集落から公共施設や福祉施設を利用するには、対象事業区間を通行する必要があるが、狹隘で線形不良であるため、安全性や移動快適性が低い。

【期待する効果】各施設への移動快適性及び安全性が高まり、生活の利便性が向上する。



4. 事業の必要性（事業の効果）

③ 地域防災力の強化

- 【現 状】第2次緊急輸送路に指定されている当該路線は、地域住民の避難ルートとなる。事業区間は、急峻な地形で、過去にも災害による通行止めが発生していることから、災害発生時には長時間に渡り通行止めとなる恐れがある。
- ↓
- 【期待する効果】2車線拡幅整備により、災害時の迅速な道路啓開が可能となり、地域住民の避難支援や早期復旧に寄与する。



6

4. 事業の必要性

■一般国道362号 下長尾工区における便益の算定

道路事業の便益は、走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少の3便益を基本としているが、高齢化や人口減少が進む中山間地域においては、地域住民の生命や生活の維持などを十分に評価できない側面がある。

費用便益分析マニュアル(令和7年8月 国土交通省 道路局)に基づき、必要に応じて貨幣換算化し、便益を計上した値を設定できることから、医療機関へのアクセスの向上や防災機能の強化といった効果を便益に加え、総合評価を行う。

追加便益	概 要
救急救命率向上便益	● 救急搬送時間短縮による救命率の向上を貨幣換算
定時性向上便益	● 道路整備により、所要時間のばらつきが減少し、定時性確保のための余裕時間も短縮されることを貨幣換算
環境改善便益	● 走行環境改善によるCO ₂ 、Nox、SPM排出量削減を貨幣換算

4. 事業の必要性（費用便益分析）

投資効果	3便益による評価	残事業による評価	(参考)総合評価
総費用(C)	2.37億円	0.91億円	2.37億円
改築費	2.28億円	0.83億円	2.28億円
維持管理費	0.08億円	0.08億円	0.08億円
用地残存価値	0.001億円	－	0.001億円
走行性3便益(B)	1.78億円	1.78億円	1.78億円
走行時間短縮便益	1.69億円	1.69億円	1.69億円
走行経費減少便益	0.09億円	0.09億円	0.09億円
交通事故減少便益	0.002億円	0.002億円	0.002億円
追加便益(B)	－	－	0.582億円
救急救命率向上便益	－	－	0.523億円
定時性向上便益	－	－	0.047億円
環境改善便益	－	－	0.012億円
	今回評価(R8)	今回評価(R8)	今回評価(R8)
費用便益比(B/C)	0.8	2.0	1.0
経済的内部収益率(EIRR)	2.6%	9.3%	－

8

5. 前回からの変更点・理由

当初からの変更点・理由

区 分	当初(R4)	今回(R8)	主な変更理由
①計画期間	R4～R11	変更なし	－
②全体事業費	250百万円	変更なし	－

9

6. 事業の進捗状況（令和8年度末見込み）

区 分	進 捗 率	内 訳
事 業 費	60%	(151百万円 / 250百万円)
工 事 費	47%	(91百万円 / 190百万円)
用地取得	100%	(980m ² / 980m ²)

7. 今後の事業の進捗の見込み

- ・ 用地買収は令和6年度までに完了し、令和7年度から工事に着手しており、令和11年度完成予定である。

8. 新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性

- ・ 工事を進めるにあたっては、他現場の発生土を盛土材として使用をするなど、工事費の縮減を図る。

10

9. 対応方針（案）

本事業は、

- ・ 線形不良や狭隘など、すれ違い困難な箇所を解消することで、通院時の移動快適性の向上、傷病者の負担軽減及び公共施設へのアクセス性の向上が期待される。
- ・ 2車線拡幅整備により、災害時の迅速な道路啓開が可能となり、緊急車両等の通行が確保されることで、地域住民の避難支援や早期復旧に寄与する。

以上から、事業効果が大い。



既に全ての用地買収が完了し、さらに擁壁工の一部が完了している。令和9年度には部分供用が可能となり、早期に事業効果が発現される。参考として、3便益以外の項目を加えた費用便益比(B/C)の総合評価は1.0になる。

事業を継続し、コスト縮減に努めて早期完成を図る。

11